



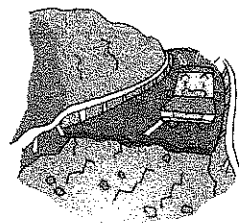
高速しが

令和3年
(2021)
8月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

ゲリラ豪雨に注意！！

今年も各地でゲリラ豪雨による大きな被害が多発しています。これから台風シーズンも重なり高速道路を運転中に突然の豪雨に遭遇したら次のことに気をつけましょう。



◎ 大雨で視界が悪くなってきた！

- * 速やかに安全な速度まで減速し、昼夜間に関わらずヘッドライトを点灯して、後続車両に自車の存在を知らせましょう。
- * 道路が濡れているときは、ハイドロプレーン現象の発生に注意しましょう。

◎ さらに雨が強くなってきた！

- * 急減速を避け、ハザードランプを点灯し、安全な速度まで減速しましょう。
- * 十分な車間距離を取り、できる限り走行車線を走行しましょう。

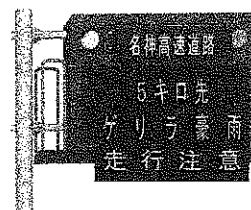


◎ 運転に身の危険を感じたら！

- * 走行車両の動向に注意しながら、最寄りのSA/PAへ待避し、気象情報を確認して安全な状況まで待ちましょう。

◎ ゲリラ豪雨に備えるためには？

高速道路では長距離を利用する車両も多く、平地と山間部、出発地と目的地の天候に違いが生じます。運転中は、ハイウェイラジオや道路情報掲示板などで最新の情報を確認し、ゲリラ豪雨に備えましょう。



あなたの車は大丈夫？

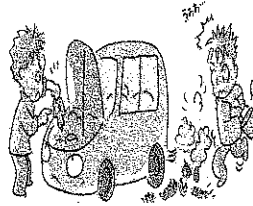
猛暑が続く夏の高速道路では、路面の温度が50度を超えることが多々あります。例年この時季には車両火災の発生が予測されます。ドライバーの皆さんには、車両火災の危険性を再認識して頂いて、火災事故を起こさないため走行前の点検をしてください。

★ エンジンオイルの点検を忘れずに！

エンジンオイルはエンジンの潤滑剤です。点検を怠ると、エンジンオイル量が減っていたり、交換時期を忘れてオイルの劣化を招くと潤滑不良を起こし、最悪、エンジンが破損し火災が発生することがあります。

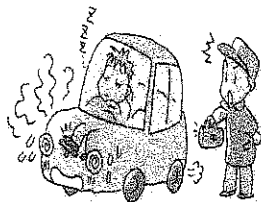
★ 駐車場所は安全ですか？

高速走行後、エンジンや排気管が熱くなっているとき、枯れ草や紙くずなどがある駐車場に、無関心のままエンジンをかけた状態で駐車したり、長時間駐車しておくと、高温となっているエンジンやマフラーなどの熱によって発火する危険があります。



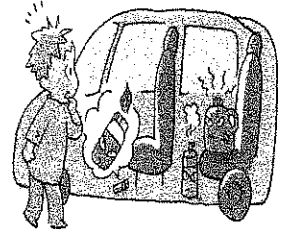
★ 車中休眠はエンジンを切ってから！

エンジンをかけたままでの車中休眠は、知らず知らずのうちにアクセルを踏み込むことでエンジンが高回転を続けて異常に加熱し、車両火災を引き起こすことがあります。また、燃料の無駄遣いや騒音公害のほか、一酸化炭素中毒を引き起こす危険性も高くなるので、絶対にやめましょう。



★ 車内に燃えやすいものを置いていませんか？

高温になる車内に、ライター、携帯ガスボンベ、揮発性の高い液体などは溶解、膨張するなどして発火の危険性があります。また、点検後、エンジンルームに布、紙などを置き忘れると、エンジンの加熱によって発火する危険性があります。



高速道路での「逆走」は危険！！

【高速道路での逆走事故を防ぐポイント】

- ☑ 進行方向をしっかりと確認する！
インターチェンジやサービスエリアなどから本線に流入する時は、案内標識や道路標示で進行方向をしっかりと確認しましょう。
- ☑ 本線でのUターンや後退は絶対禁止！
インターチェンジを通り過ぎた時は、次のインターチェンジまで行き、高速道路を降りてから再度利用しましょう。